

大台ヶ原を授業で活用するためのチェックリスト

大台ヶ原でのフィールドワークを含めた授業での活用について必要なことをまとめています。以下の項目を確認して、授業づくりを進めていただくことをおすすめします。

1. 授業案の検討

- 大台ヶ原に関する情報等を本サイトより確認する。
- 学習指導要領を踏まえ、単元の目的（生徒にどのような力をつけたいか）を整理する。
- フィールドワークで体験させたい事項を整理し体験のテーマを設定する。
- 環境省に具体的に協力して欲しいこと（出前授業、フィールドワークの対応等）について、講師派遣依頼書を参考に整理する。
- 大体の実施時期を決めておく。

2. 環境省への相談（実施予定の2～3ヶ月前）

- 学校で検討した授業案をもとに対応可能な内容かを確認する。
(フィールドワーク部分だけでなく、単元全体の授業展開を共有してください)
- 想定している時期で実施が可能かを確認する。
→環境省での対応が難しい場合は、関連団体・社会教育施設等を紹介してもらう。
- 下見・打ち合わせの日程を調整する。
- 教員と環境省側の役割について確認する。

3. スケジュールの検討

- 実施日時の決定
- スケジュール決定
- 交通手段の決定
- 講師派遣依頼書を提出する。（開催1ヶ月前を目安としてください。）

4. 下見・打ち合わせ・派遣依頼書の提出

環境省との打ち合わせは現地ではなく、オンラインも含めて調整が可能ですが、可能な限り現地の下見を行うようにしましょう。

- 実施日の確認
- スケジュールの確認
- 施設の確認（トイレ・昼食場所・雨天時の対応）当日使用する施設について相談する。
- フィールドワークに必要な機材の中で、環境省から貸し出し可能なものを確認する。
- 緊急時の連絡先、救急病院等について確認する。
- フィールドワーク中に注意すべき事項（危険な生物、危険な箇所）について確認する。

5. 事前準備

- 教員の持ち物（救急用具など）と生徒の持ち物を決める
- 事前授業の中で、必要に応じて当日使用および事後授業等で使用するするワークシート等を作成しておく。

6. 前日・当日確認事項

- フィールドワークが実施可能か確認する。前日の天候の状況で使用不可能な場所等がないか確認する。
- フィールドワーク開始時に、マナーの意識やゴミの持ち帰り、生徒たちに緊張感を持たせるような話をする時間が組み込まれているか。

7. 授業実施後

- 実践事例の整理表を提出、その他、利用にあたっての要望点等があれば環境省側にフィードバックするとよい。